



Twitter 開設中！

@jtsue\_yamanashi

2022.9.23 No.7

### 大会宣言(案)

私たち、JR東日本輸送サービス労働組合山梨支部山梨駅連合駅分会は本日、山梨県立図書館において、第4回定期大会を開催した。会社によるあらゆるハラスメントをなくし不当労働行為を許さず、「安全」「働きがい」「生きがい」と将来に希望が持てるJR東日本を職場から「すべての仲間」と共に創りだすことを満場一致で確認した。

新型コロナウイルスは現在も落ち着きをみせてはいない。組合員の感染も拡大をしており、いつ、どこで感染するかわからない。今、私たちがすべきことは感染対策をしっかり行いながら、担っている業務を遂行すること、労働運動を進めていくことだ。

感染が収まらない中、会社は「社員・家族の幸福の実現」ということで、不要不急といってもおかしくない状況下で大規模な異動を行った。本人の希望を全く考慮しない異動に、仲間の中には、「自宅から職場までが遠距離になってしまった」「生活設計が完全に狂ってしまった」と不満が続出し簡易苦情処理の提出が増えている。これが「社員・家族の幸福の実現」と言えるのだろうか？2020年4月から始まったジョブローテーション施策は、社員のモチベーションの低下だけでなく、不慣れな業務に就くにも関わらず異動先の職場で時間を掛けた教育体制が取れないという問題が継続して発生している。「安全性」や「専門性」更に「社員・家族の幸福の実現」にあまりにもかけ離れたジョブローテーション施策の「中止・見直し」を会社に求め続けていく。

感染対策をしっかり行い、「エッセンシャルワーカー」として公共交通機関を担ってきている中で、会社は2023年ダイヤ改正時に、甲府営業統括センターと甲府運輸区を統合し「甲府統括センター」を廃止すると提案を行った。内容には「～あるかもしれない」「検討中」の文言ばかりで、具体的に何も決まっておらず、施策実施ありきの姿勢が明白である。営業統括センターが廃止された現在も「見極めが曖昧で、本人が不安を抱えたまま1人業務にさせる」「除草の際の営業職と乗務員の線路立ち入りのルールの違い」等、様々な問題も発生している。更に企画業務が偏重され、特に若手社員は付与された課題に日々追われている。効率化と通常業務の軽視によって「安全・サービス」が蔑ろにされることがあってはならない。一人一人が「自分たちのやるべき本来業務は何なのか？」もう一度見つめ直し、議論していこう！

会社からの不当労働行為、悪宣伝は今も続き、ある職場において身体に障害を抱える社員への「合理的配慮」という企業としての責任を一切果たさず、本人希望や悩みを無視し管理者は恫喝を繰り返し強制配置転換を行い、退職せざるを得ない状況に追い込まれた。会社は調査した上での回答や見解を示さず「回答を差し控える」と繰り返した。すべての弱者に対する配慮は生きるものとして当然のことである。

不当労働行為は犯罪である。あらゆる手段を活用し、社会から逸脱しようとする企業体質を改めるために不当労働行為に「No!」と突き付けていこう！

私たちJR東日本輸送サービス労働組合は、一人ひとりの仲間が「働きがい」「生きがい」のある職場環境をつくり「安全で安定した輸送サービス」を提供する労働組合である。今、この時間もそれぞれの職場で奮闘する仲間とともに私たちが担っている「本来業務」を守り「人を大切にする」という健全なJR東日本・グループ会社をつくりあげていこうではないか！

以上宣言する。

2022年9月21日  
JR東日本輸送サービス労働組合  
八王子地方本部 山梨支部  
山梨駅連合分会  
第4回定期大会

山梨駅連合分会  
第4回定期大会  
大会宣言  
満場一致で採択！



新たなスタートでともに支え合い

「人を守る」健全な会社をつくりあげていこう！

